

アケボノソウ
(リンドウ科センブリ属)

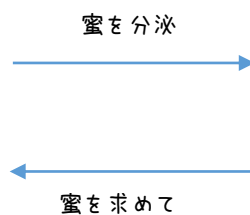
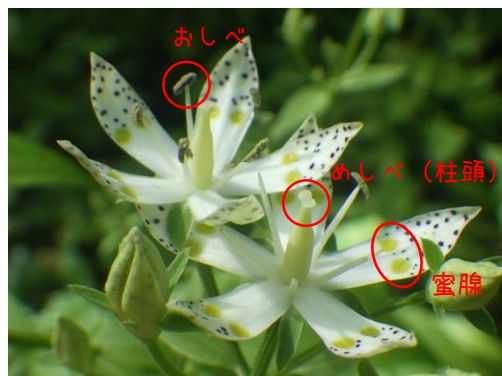
北海道、本州、四国、九州に分布し、山地の水辺に生育している2年草で、1年目は花を咲かせず、2年目に花を咲かせます。花卉の斑点を夜明けの星空に例えて、この名前が付けました。



花卉に虫がやってくる

アケボノソウの花卉には、蜜腺みつせんという蜜を分泌するところがあります。そのため、小さな虫たちが花卉に蜜を求めてやって来ます。

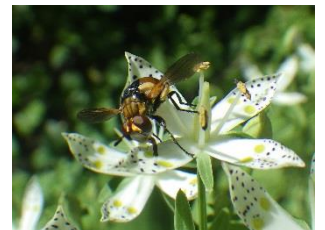
アケボノソウは、蜜を求めてやって来た虫たちに花粉を運んでもらい、受粉したいのです。



ハナバチの仲間



ハエの仲間



アリの仲間



カメムシの仲間



など

蜜腺にやって来る虫を狙って

ハナグモの仲間



生きもの同士の利用

アケボノソウは虫を利用して受粉し、虫は蜜腺から蜜をもらいます。また、蜜腺にやって来る虫を狙って、アケボノソウにやって来るものもいます。

生きものたちは様々なかたちで、利用し利用され繋がりながら生きているのです。